

RUG (Revit User Group) の活動概要

作成：2020年8月末日・Revit User Group

活動目的

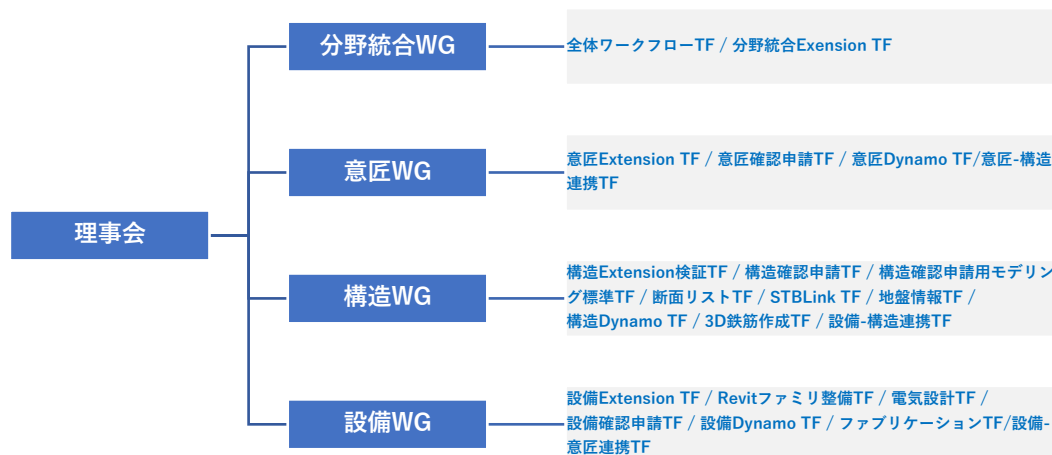
RUGはRevitのユーザーグループであり、2007年に結成され、建設業界においてRevitを中心としたBIMを実務的に活用できるような活動を行い、その普及と展開に努めることを目的としています。

現在の活動

昨今は建築BIM推進会議を中心とした業界団体の議論に移行してきているため、RUGはより具体的な検証へと軸足を移す段階にきています。これまでのBIMによるワークフローの分析をもとにしたミッシングリンク（データ流通の血栓）発見や、解決するための各種タスクフォース活動は継続しつつ、Revitのネイティブデータを使ったBIM活用方法のベストプラクティスを、サンプルモデルを使って検証し具現化しています。また、意構設データ連携や、メーカー・ファブ連携の推進、そして、これらを実現するための共有パラメータ等の標準化を行っています。

運営体制

運営体制は主に下記のワーキンググループ（WG）とタスクフォース（TF）により構成されています。



参加資格

参加者は建築分野の実務領域でRevitを使用しているユーザーを対象としています。現参加者が所属する企業や団体は次のとおりです。

あい設計/INA 新建築研究/青木あすなろ建設/石本建築事務所/大林組/久米設計/佐藤総合計画/三晃空調/清水建設/昭和設計/新菱冷熱工業/大和ハウス工業/大成建設/高砂熱学工業/竹中工務店/東急建設/東畑建築事務所/戸田建設/西松建設/日建設計/日建ハウジングシステム/日鉄エンジニアリング/日本設計/東日本総合計画/日立建設設計/松田平田設計/三菱地所設計/明豊ファシリティーワークス/山下設計/ the workshop/

大阪電気通信大学/熊本大学/東京大学生産技術研究所/日本 ERI（順不同）

また、以下の企業に協賛頂いています。

フカガワ/イズミシステム設計/BIMobject Japan/レノボ/HP/デル/ Autodesk/応用技術/大塚商会

活動実績

各WG・TFは月に1回～数か月に1回程度のペースでワーキングを行い、課題事項の検討を進めています。また、その活動実績は年に2度のイベント（RUGカンファレンス・RUG総会）で報告・発信を行います。これまでの成果資料については、RUGのホームページにアーカイブしておりますのでご参照ください。

■RUG ホームページ <http://bim-design.com/rug/>